

ネクスト・ファーマ・エンジニア養成コース シラバス

開催方法 (○で囲む)	1 ライブ 2 オンデマンド
※配信日時 (ライブの場合)	
科目名	バイオ医薬 「バイオ医薬品のモダリティ」
担当教員	富山くすりコンソ アドバイザー 宮嶋 勝春 氏
授業の内容	<p>I. 歴史に見る医薬品モダリティの変化</p> <p>(1) 医薬品モダリティの変遷 - それは自然物からスタートした -</p> <p>(2) バイオ医薬品の種類と特徴 - 核酸医薬・抗体医薬・タンパク製剤他 -</p> <p>(3) バイオ医薬品の市場と関連規制</p> <p>II. バイオ医薬品の品質・製造管理</p> <p>(1) バイオ医薬品の品質とは何か - 低分子医薬品との比較 -</p> <p>(2) バイオ医薬品の開発 - Quality by Design (QbD) に基づくバイオ医薬品開発 -</p> <p>(3) バイオ医薬品の製造の特徴 - シングルユーステクノロジーの活用 -</p> <p>(4) バイオ医薬品原材料供給業者管理のポイント</p> <p>III. バイオシミラーの開発とその課題</p> <p>(1) バイオシミラーと後発医薬品との違い</p> <p>(2) バイオシミラーの特徴 - 品質・有効性・安全性 -</p> <p>(3) バイオシミラー開発上の課題と将来展望</p> <p>IV. 今後期待される医薬品モダリティ</p> <p>(1) 新たなモダリティへの取り組み</p> <p>(2) バイオ医薬品の将来展望</p> <p>(3) 実用化段階に入った新たな製造・品質管理技術</p> <p>まとめとディスカッション</p>
学生の到達目標	バイオ医薬品と低分子医薬品の違い、特に有効性・安全性、製造と品質管理、について理解するとともに、バイオシミラー開発の現状について理解する。その上でバイオ医薬品の開発・製造現場が抱える課題に対して、自分たちがどのような貢献ができるのか、またそのためにどのような知識・技術が必要なのかを理解する。
キーワード	モダリティ、バイオ医薬品、バイオシミラー、核酸医薬、mRNA、抗体医薬、シングルユーステクノロジー
その他、受講上の注意事項や学習上の助言など	事前に講義資料を配布しますので、講義内容について確認しておき、疑問点などを質問できるようにしてください。